

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	女 70代	関節リウマチ (頸椎症性脊 髄症, 未破裂 動脈瘤, 高 脂血症)	2mg 209日間 ↓ 中止	<p>静脈血栓塞栓症 肺塞栓症 既往歴：血栓症, 静脈瘤, 静脈血栓塞栓症の既往はなし 日常生活に問題なく, かなり活動的である 過去の生物学的製剤, JAK阻害剤：ゴリムマブ, トファシチニブ 罹病期間：2年</p> <p>投与開始日 関節リウマチ (Stage II, Class II) に対し本剤 2mg/日で治療を開始</p> <p>投与170日目 右脚の腫れが発現 そのほかの症状は特になし</p> <p>投与175日目 (発現日) バイタルサイン：血圧111/52mmHg, 脈拍71/分, SpO2 98% (room air), 体温37度 脱水の症状はなし 血液検査：下表参照 血管エコーを行ったところ, 右大腿静脈に血栓あり 造影CT検査：肺動脈内に血栓を疑う造影不領域や肺塞栓症を疑う陰影はなし 右後脛骨静脈, 膝窩静脈から大腿静脈にかけ, 造影不領域あり 右下腿皮下に浮腫性腫脹あり 静脈血栓塞栓症と診断 (肺塞栓症はなし) 入院し, リバーロキサバン投与開始 (本剤投与継続)</p> <p>投与176日目 右脚の腫れは軽快傾向</p> <p>投与182日目 事象回復との判断で退院</p> <p>投与195日目 リバーロキサバンを30mg/日から15mg/日へ減量</p> <p>投与204日目 脚の腫れ, 痛み発現 呼吸苦はなし バイタルサイン：血圧131/73mmHg, 脈拍56/分, SpO2 97% (room air), 体温35度 脱水の症状はなし 血液検査：下表参照 造影CT検査：浅大腿静脈から腓骨静脈, 及び右肺動脈下葉に血栓が認められた 静脈血栓塞栓症再発, 肺塞栓症と診断 入院となる アピキサバン投与開始</p> <p>投与209日目 (投与中止日) 本剤投与中止</p> <p>投与中止12日後 事象は回復し退院</p>

臨床検査値

	投与126日目	投与175日目 (発現日)	投与203日目	投与204日目
白血球 (/ $\mu$ L)	4,700	5,400	4,100	4,500
Hb (g/dL)	10.4	10.2	9.8	10.3
血小板 ( $\times 10^3$ / $\mu$ L)	234.0	148.0	196.0	220.0
AST (U/L)	20	25	33	27
ALT (U/L)	18	19	34	28
クレアチニン (mg/dL)	0.93	1.10	1.01	1.06
BUN (mg/dL)	15	21	19	19
Na (mmol/L)	144	143	143	143
K (mmol/L)	4.7	4.5	4.4	3.9
Cl (mmol/L)	113	114	111	112
CRP (mg/dL)	0.08	0.12	0.04	0.03
Dダイマー ( $\mu$ g/mL)	-	17.98	-	1.52

- : 未測定

併用薬：プレドニゾロン (5mg/日), メトトレキサート (6mg/週), イグラチモド (50mg/日), デノスマブ, アルファカルシドール, 葉酸, ランソプラゾール, メコバラミン, クロナゼパム, プラバスタチンナトリウム